

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		公表日 2025年 3 月 10 日				
事業所名		公表日 2025年 3 月 10 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	折り畳みの机を使用し、場の確保を行っている。また、公園など外活動、体育館の利用している	机等がある場合は運動時には狭さを感じてしまう。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	作業内容などを見直しながら落ち着いて過ごす事が出来るように取り組んでいる。	イベント時に1対1の対応が必要な児童が重なってしまった時に人手が増えるより支援がしやすくなる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		伝える事が苦手な児童など写真カードや言葉カードやイラストを使いながら分かりやすくなるように工夫を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個室をもうけタイムアウトや児童との面談などを行う事が出来るようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	常に意見交換を行いながら、複数の視点で考える事を意識して行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		一年に一度の評価表や担当者会議などを含め意見をもらいながら改善へ向けてミーティングを行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ミーティングだけでは無く、気になる点などがある場合は常に話し合いを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	社内だけではなく外部の研修を含めて情報を共有しながら開催の機会を共有していく。	現在、外部研修への参加がほとんど出ていない状況。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		個別支援や専門的支援を児童に合わせて行い、共有しながら支援に取り組んでいる。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員間で意見と出しながら児童発達支援管理責任者だけの意見とならないように行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		連絡帳への記入を行い家族へ状況を伝えるだけでなく日々の行動記録として残しながら確認を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		様々なイベント企画などを立てた後に気になる点などを意見交換をしながら取り組んでいる。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		固定化しない様に新しい活動への取り組みや以前の活動へプラスしながら様々な活動の提案を行う様にしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	毎日、全員が集まる事は出来ない日も有るが、情報共有をしながら支援に取り組んでいる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	業務終了後、気づき（良かった点、改善点等）などを共有を行っており、記録に残し情報共有を行う様にしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		成長記録に児童の様子や対応の様子を記入しながら情報共有を行う様にしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的なモニタリングと日々の振り返りを行いながらみ直しを行う様にしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		児童に合わせて支援方法をかえながら、選択肢をもうけたり自分で考える時間を設けながら取りくんでいる。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		管理者、児童発達管理責任者が参加し情報共有を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	学校や他事業所及び相談員などを含めて会議やいつでも連絡が出来るようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		管理者、児童発達管理責任者が参加し情報共有を行っている。学校のHPの確認なども含め行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	利用前や併用している事業所との連携を持ちながら情報共有を行いながら支援を行っている。	中高生が中心の為、保育所などの関わりは無い状況。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	卒後の事業所へ直接共有する事は少ないが、相談員を通し気になる点などがある場合は共有し伝えてもらっている。卒後の事業所での担当者会議などに参加出来る場合は参加し伝えていく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		必要時に相談をする事はあるが、研修の形では機会を設ける事が出来ていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	直接的な関わりは少ないが、子供たちが集まる公園などへ行き順番待ちなどの関わりを取り入れている。同法人内での放課後等デイサービスとの交流は有り。	現段階では、他者との交流が苦手な児童も多く、児童クラブなどの他児童との関わりは出来ていない状況。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7		参加はしたことがあるが、毎回の参加が出来ていない状況。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時など直接保護者に状況の説明を行う。その中で保護者や事業所での課題点や成長している点などを共有。課題点を話し合い再度、保護者への提案を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	ぱれっと内での支援での成功体験などをご家族に伝え共有を行っています。	家族への研修としての機会を設ける事は出来ていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		希望や意見を取り入れつつ課題等に合わせた提供を行う様に心がけている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		相談時やこちらから気になる点などがある場合に管理者が窓口となり保護者や児童と面談や電話などにて行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7		現段階では開催する事が出来ていない状況。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		管理者が窓口となり状況確認を行い、その後全体で共有した上で問題点を話し合いながら再発防止に取り組んでいる。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		インスタグラムを利用し活動内容を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		言葉だけでは伝わりにくい部分も有る為、児童へはイラストなどを用い見える化にしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		現段階では地域の方をご招待するなど関りが出来ていません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		契約時に対応方法等の伝えているがマニュアルとして周知する事が出来ていない。職員での訓練は定期的に行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			直接意思の指示書を頂く事が出来ていないが、保護者への確認今までの経緯を確認しながら対応を行っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			発生時に共有を行い、ファイリングにて保存。職員での話し合いを行い再発防止に努めている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		決められた研修のみになりやすいので、こまめに研修の場を設けたり、情報共有を行っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		現在、身体拘束が必要な状況ではないが、やむを得ない場合、事前に防ぐ対応など様々な場面を常に想定しながら慎重に検討。必要時には必ず保護者等にも説明同意を頂く。	